

低燃費で長時間飛行

日本の圃場だから発揮できる

最高のパフォーマンスを



ドローンは今まで維持費や周辺部品など、多くのコストが発生していました。

「ドローンは大規模圃場のものだ!」と言われ続け、どうしたら普及できるのか考え続けました。

ただ安いだけではいけない。安心して使える国内製品、現場に合わせて機能が使える独自の制御装置、

アタッチメント式で多様な使用方法にも対応、薬剤ドリフトの低減、コストを抑えるための耐久性や飛行時間。

たくさんの現場の声が反映され、様々な問題を乗り越えた飛助miniの最新モデルが誕生しました。

01 LOW FUEL ECONOMY 低燃費

小型の農業ドローンといえどバッテリーはまだまだ高価。中山間地でバッテリーコストを回収するには至難の業です。そこで飛助miniの推進部品やバッテリー、プロペラの大きさなど機体の重量も最適化を行い、飛行時間が大幅に向上しました。24inchの大きなプロペラと、強力なブラシレスモーターのパワーで低回転でトルクある飛行を実現します。



なんと
従来の2倍

**1つのバッテリーで
合計1ha散布でき、コストが1/2に!!**

02 SPRAYING PERFORMANCE 散布性能

機体重量を軽くすればするほど、ダウンウォッシュ(降下気流)が弱くなり、横風の影響を受けやすくなります。そこでフレームを<+>の構造で設計し、前進と後進でも変わらなく機体の75%のダウンウォッシュを利用でき、横風に強くドリフトを低減することができます。また、従来よりも二回り大きくなった直径61cmのプロペラにより、ダウンウォッシュの到達距離が長くなります。そうすることで散布幅4m内を、作物の根元まで薬剤を散布することができます。

前進

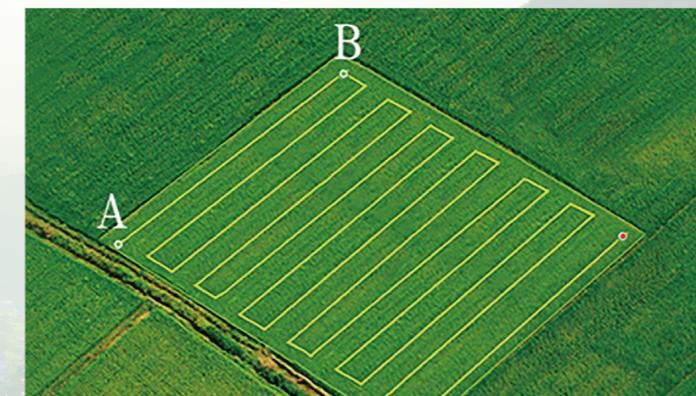


後進



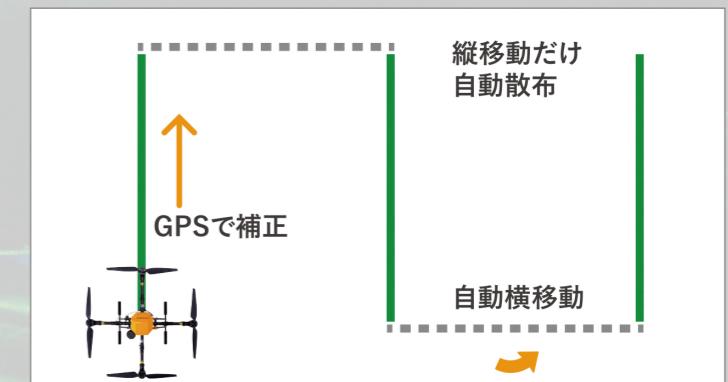
03 AUTOMATIC FLIGHT & STRAIGHT AHEAD ASSIST 自動飛行＆直進アシスト

自動飛行モード



A地点、B地点の上空でスイッチを押すだけで自動散布飛行が可能です。横移動や前後移動、散布装置のON・OFFも全て自動制御します。前後移動の時だけ散布装置がONになり、ホバリング時と横移動時は散布装置がOFFになるので薬剤を不用意に落させることはありません。自動飛行中でもスティック1本で地点の延長や、短縮も可能になり、様々な形状の圃場でも対応することができます。従来の自動飛行機能よりも機能が向上しています。

直進アシストモード



初心者の方でも簡単に散布できるように、直進アシストモードが標準で装備されています。GPSを使用して飛行経路がズレないよう自動で補正され、速度は15kmで固定、散布装置も緑線だけを散布するように自動制御します。ホバリング時や横移動時は散布装置が自動停止するので毎回操作する必要はありません。スイッチ一つで自動で4m横移動を行うので、作業者が変わっても正確な散布幅で作業できるので散布ムラを低減します。